



発表要旨

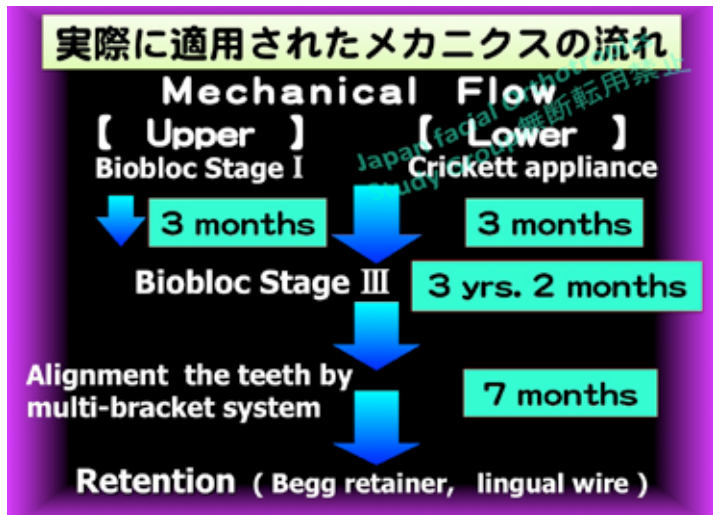
Key Words of the Presentation

- オーラルポスチャー
Oral posture
- アレルギー性鼻炎
Severe allergic rhinitis
- 水平成長 (Facial axis closing)
Horizontal growth

問題点の総括

Summary of Problems

- 鼻炎と胸骨負荷姿勢によって、Oral Posture の異常バランスを来とし、これによって中顔面の後退と長顔化・Mentalis habitや嚥下異常が定着したと考えられた。また、両親の顔貌や歯列、嚥下のパターン等から推察して、各種遺伝素因が相乗的に参与したものと考えられた。
- It was thought that the patient's facial features, including big buccinator, mentalis habit were results of adaptation to her rhinitis. Her oral posture resembled that of her parents, suggesting a hereditary of oro-facial growing pattern.



考察 (さまざまな気づき)

- 幼少期からオーラルポスチャーの不全に関連した長顔化を呈する患者に対して、オーソトロピクスの概念を治療に適用することにより、軟組織バランスおよび歯列の改善の可能性が広がるということが、本症例では示されたと考えられた。
- Orthotropics における Biobloc Stage III と、オーラルポスチャーの保全にまつわる患者とその家族の協力は、過大な垂直成長の傾向が認められる若年期日本人症例に対して、有効性があるものと考えられた。

